

令和6年度「就職先からの卒業生に対する評価
(卒業生に関するアンケート)」集計結果報告書
(令和4年度卒業生対象)



高 松 大 学

高松大学大学院



高 松 短 期 大 学

目 次

1. 実施要項	1
2. 集計結果 経営学部	
(1) 集計結果 概要	3
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	5
3. 集計結果 発達科学部（企業等）	
(1) 集計結果 概要	9
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	11
4. 集計結果 発達科学部（教育・保育等）	
(1) 集計結果 概要	15
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	17
5. 集計結果 大学院経営学研究科	
(1) 集計結果 概要	23
6. 集計結果 保育学科	
(1) 集計結果 概要	25
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	27
7. 集計結果 秘書科	
(1) 集計結果 概要	33
(2) 集計結果 グラフ及びデータ	35
8. アンケート用紙	
(1) 高松大学卒業生に関するアンケート（企業等）	39
(2) 高松大学発達科学部卒業生に関するアンケート（教育・保育等）	40
(3) 高松短期大学保育学科卒業生に関するアンケート	41
(4) 高松短期大学秘書科卒業生に関するアンケート	42

令和6年度 就職先からの卒業生に対する調査（実施要項）

1. 目的

本学の卒業生を採用して頂いている企業・官公庁・病院・小学校・幼稚園・保育所・認定こども園などで、本学の卒業生が職場でどのように評価されているかを知り、また、本学の教育に対する忌憚のないご意見ご要望をうかがい、本学の教育の改善に役立てる。

2. 対象

令和4年度卒業生の就職先（大学、短大、大学院）

- ・ 卒業後1年を経過した者に関するアンケート
- ・ 発達科学部卒業生の就職先は、「企業等」と「教育・保育等」にアンケート用紙を分ける

3. 実施日・回収期日

実施日：令和6年7月1日

回収期日：令和6年7月末まで

4. 実施方法

令和4年度卒業生の就職先へ対し、業種ごとに異なるアンケート用紙を郵送し、インターネット・FAXのいずれかで回答する。

5. アンケート項目

別紙アンケート用紙参照

6. データ集計

学部・学科ごとに集計する。また、記述部分は内容ごとにまとめる。

7. 発行形式等

学内公表：教職員にはデスクネッツ（文書管理）にて閲覧できるようにする。

学外公表：公式ホームページにて閲覧できるようにする。

8. 発行時期

令和6年9月30日

9. 担当

各学部・学科、学生支援部キャリア支援課

令和6年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 経営学部 集計結果の概要（令和4年度卒業生対象）

依頼数 62 に対し、協力数は 32 で回収率は 51.6%（昨年：依頼数 56 に対し、協力数は 32 で回収率は 57.1%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについて のご感想をお伺いします。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 81.2%と十分高い評価を得ている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 18.8%であった。「やや応えていない」「応えていない」という回答はなかった。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合は、もちろんサンプルバイアスもあるだろうが、令和4年4月採用の 82.9%につづき 8割越えとなっており、企業からのコメントを見ても、比較的良い評価を得られている。他方、ネガティブな意見側を見ると、前年度は「やや応えていない」「応えていない」が合わせて 6.8%あったものが本年度はゼロになっているものの、18.8%の「個人間のばらつきがあり何ともいえない」というのが少しネガティブな意見を集約したものであると解釈するのであれば、この比率は無視できない大きさである。建学の精神や経営学部が目標としている育成方針にのっとった教育にさらに力を入れる必要がある。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 68.8%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 28.1%であった。「どちらかというやや低い」は 3.1%（1件）であった。「全体として低い」という回答はなかった。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合は前年（令和4年4月採用）の 75.8%から今回は 68.8%へと低下している一方、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」「どちらかというやや低い」というポジティブではない評価が 3割というのは大きな比率となっている。企業側が採用時に「意欲・熱意」「性格・人柄」「コミュニケーション能力」といういわゆる社会人基礎力を重視している点を鑑み、学生の人格形成を進めると同時に、物事に関心を持つ、目線を高く持つ、専門知識を用いた問題解決能力を高めるなど、ゼミ教育などを通じて、学生一人ひとりと深く関わり、総合的な能力や意識を向上させることが必要なのではないかと考えられる。

Ⅳ-3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 59.4%、「何ともいえない、わからない」が 40.6%であった。「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかった。

就職支援活動や採用依頼活動に対する熱心さの割合について、前年（令和4年4月採用）の 55.2%から今回は 59.4%と上昇している。キャリア支援課による学生指導とサポートや経営学部の各教員による学生へのきめ細かな指導、およびキャリアカウンセラー利用の呼びかけなどがこの比率につながっていると考えられる。ただし、まだまだ上昇の余地は大きく、またタイトな労働市場の状況において安易に学生が就職先を選ぶことがないように、個々の学生の情報について密度高く共有するなど、キャリア支援課と経営学部との連携を一層高める必要があると思われる。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 93.7%と高い水準である。「採用は人物本位であり、何ともいえない」が 6.3%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」

という回答はなかった。

この設問の結果は、前年（令和4年4月採用）の86.2%から93.7%へと大きくジャンプアップしている。ここまでの結果を鑑みると、やはり新卒採用市場が非常にタイトであり、企業側で採用に苦戦していることもこの結果に影響しているのではないかとと思われる。企業側が設定する採用のハードルが低くなり就職活動を楽しみ乗り切った結果、就職後、仕事の内容や環境が想定していたものと違って、すぐに転職したという状況が発生しないように、売り手市場だからこそきめ細かな就職活動サポート・指導をしていく必要があると考えられる。

V. ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「コミュニケーション能力」の回答が一番多く、次いで「性格・人柄」「意欲・熱意」の回答が多く見られた。

前年（令和4年4月採用）同様、「性格・人柄」「コミュニケーション能力」「意欲・熱意」の回答が多く、前述のように社会人として求められる基礎的な力を重視する状況に変わりはない。本学のような一教員に対する学生数が少ない大学だからこそ、「性格・人柄」「コミュニケーション能力」「意欲・熱意」という人間性の部分を育成できるという強みを意識し、ゼミ教育、キャリア教育すべてを通して学生の育成に係り、キャリア支援課と経営学部教員が連携して学生一人ひとりの指導に努めていくことが重要と思われる。

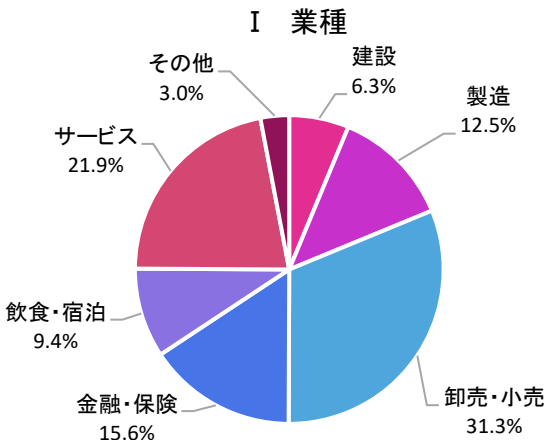
(2) 集計結果 グラフ及びデータ (経営学部)

調査対象	令和4年度高松大学経営学部卒業生就職先 62社		
実施時期	令和6年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	62社	
	協力数	32社	

回収率 51.6%

I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	2
2	製造	4
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	10
7	金融・保険	5
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	3
10	医療・福祉	0
11	サービス	7
12	その他	1

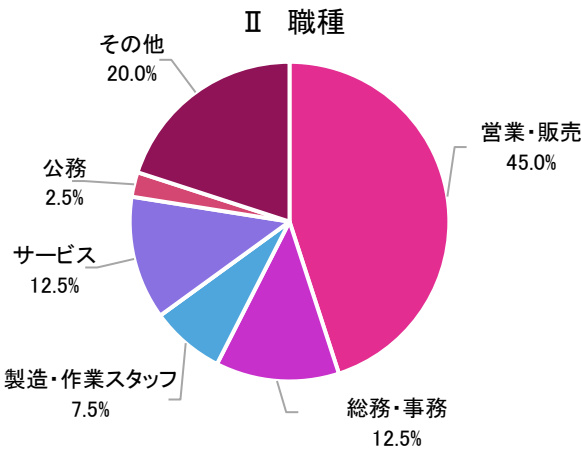


【その他】公務

II・III 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内留学生	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	16	18	0	1
2	総務・事務	4	5	0	0
3	製造・作業スタッフ	3	3	0	0
4	通訳・貿易	0	0	0	0
5	サービス	5	5	1	0
6	公務	1	1	0	0
7	その他	6	8	0	0

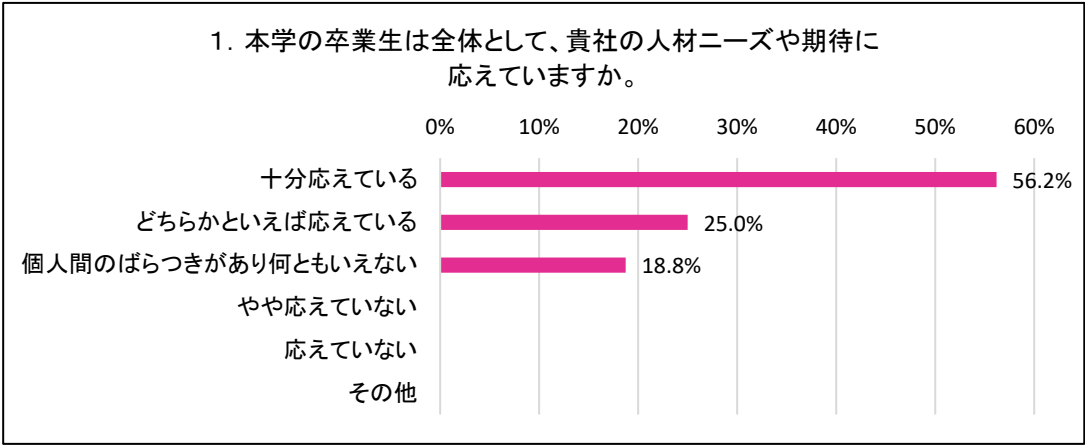
【その他】
総合職(3)
技術サービス
施工管理
機械整備



IV 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動等についてのご感想を伺います。

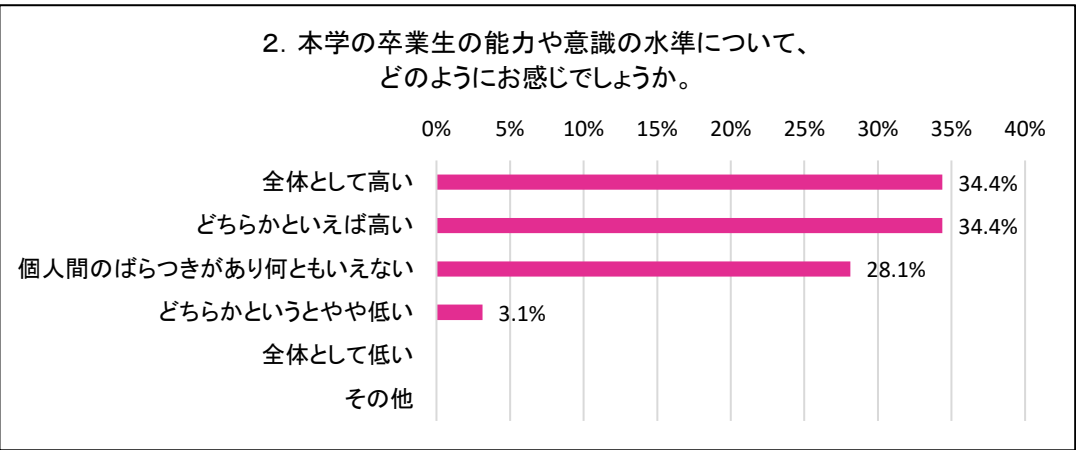
1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	18
2	どちらかといえば応えている	8
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	6
4	やや応えていない	0
5	応えていない	0
6	その他	0



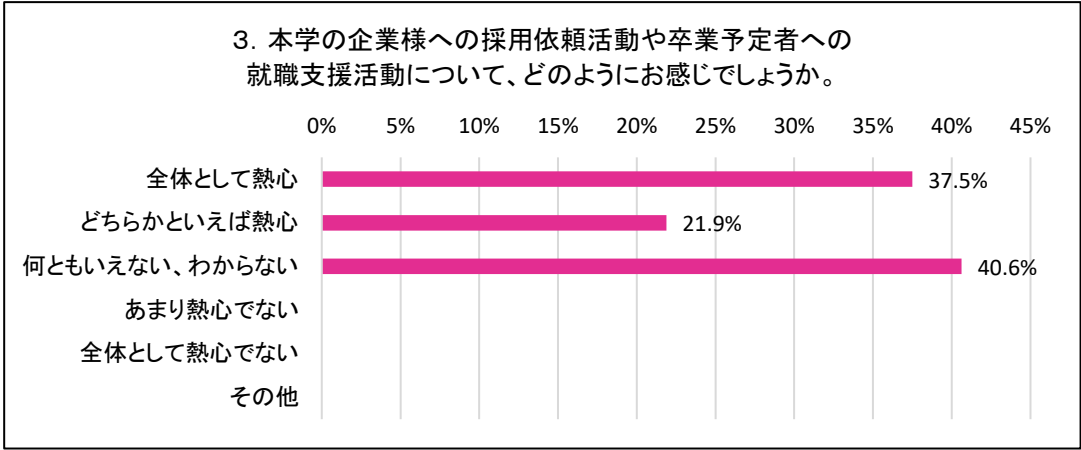
2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	11
2	どちらかといえば高い	11
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	9
4	どちらかというとやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	0



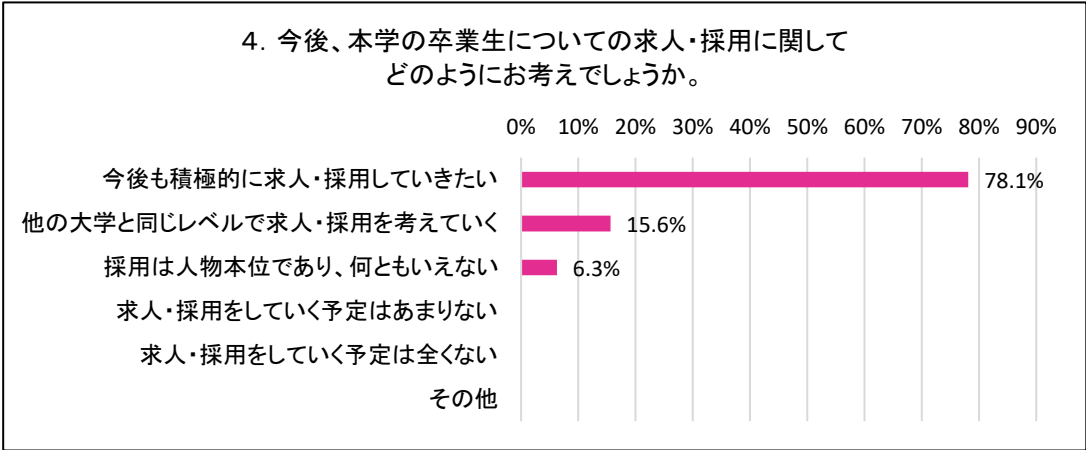
3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	12
2	どちらかといえば熱心	7
3	何ともいえない、わからない	13
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0



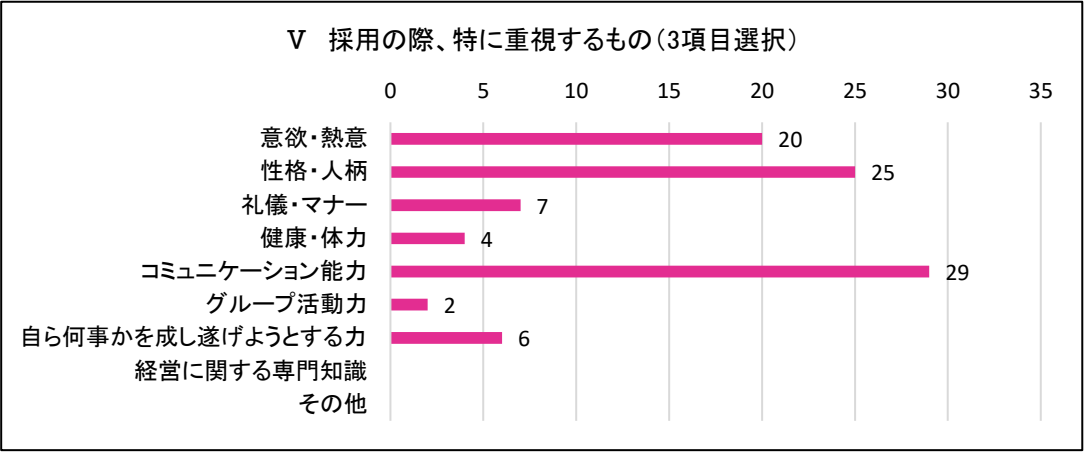
4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	25
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	5
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	2
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0



V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	20
2	性格・人柄	25
3	礼儀・マナー	7
4	健康・体力	4
5	コミュニケーション能力	29
6	グループ活動力	2
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	6
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0



VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

令和6年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（企業等） 集計結果の概要（令和4年度卒業生対象）

依頼数 11 に対し、協力数は 7 で回収率は 63.6%（昨年：依頼数 16 に対し、協力数は 9 で回収率は 56.3%）であった。回答に協力いただいた企業の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅳ 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについて のご感想をお伺いします。

Ⅳ-1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 42.9%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 42.8%であった。「応えていない」という回答は 14.3%（1 件）であった。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」と回答した企業は合わせて約 4 割にとどまり、昨年度の約 8 割を大きく下回った。逆に「個人間のばらつきがあり何ともいえない」と回答した企業は昨年度 0 社であったが、今年度は約 4 割と大幅に増加した。採用 2 年目を迎え、企業等から卒業生に求められるものが、採用当時に比べ厳しくなる中、その期待に十分に応えていない現状が窺える。

Ⅳ-2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」の回答はなく、「どちらかといえば高い」の割合が 28.6%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 42.8%を占めている。「どちらかというやや低い」は 28.6%であり、「全体として低い」という回答はなかった。

昨年度は「全体として高い」「どちらかといえば高い」と回答した企業は合わせて約 6 割であったが、今年度は「全体として高い」の回答は 0 社、「どちらかといえば高い」の企業は約 3 割に留まった。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」と回答した企業も昨年度は約 1 割であったが、今年度は約 4 割と増加した。本学部卒業生に対する企業側の評価は大変厳しい現状であり、企業への就職を希望する学生の進路意識の向上と就労意欲の伸長が今後の課題である。

Ⅳ-3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 42.9%、「何ともいえない、わからない」が 42.8%を占めている。「あまり熱心でない」は、14.3%（1 件）であり、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」と回答した企業は約 4 割で、昨年度の約 5 割をやや下回った。「何ともいえない、わからない」と回答した企業は昨年度は約 5 割であったが、今年度は約 4 割となった。企業の肯定的な評価を高めていくために、ゼミ担当教員、キャリア支援課、企業が効果的に連携して、個々の学生に照準をあてて丁寧に進路実現を図っていく必要がある。

Ⅳ-4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 71.4%、「採用は人物本位であり、何ともいえない」が 28.6%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」

と回答した企業は合わせて約7割で、昨年度の約8割をやや下回った。企業側に高い評価をいただくためにも、キャリア支援課が学部と企業側とのパイプ役として求める人材の育成に努め、地域貢献への寄与を一層確かなものとできるよう注力することが大切である。

V. ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」(6件)、「意欲・熱意」(5件)、「コミュニケーション能力」(4件)の回答が多く見られた。

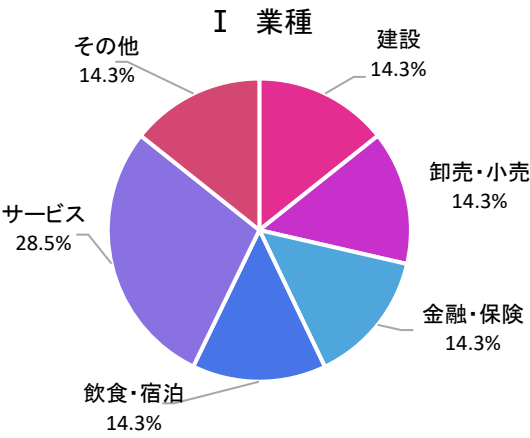
上位3項目は昨年度と同じで、また教育・保育等においても同じであり、企業が求めている職業人としての資質と言える。大学生活で様々な体験をし、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、コミュニケーション能力(話す力)を磨き、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 企業等)

調査対象	令和4年度高松大学発達科学部（企業等）卒業生就職先		11社
実施時期	令和6年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	11社	
	協力数	7社	
	回収率	63.6%	

I 貴社の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	1
2	製造	0
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	1
7	金融・保険	1
8	不動産	0
9	飲食・宿泊	1
10	医療・福祉	0
11	サービス	2
12	その他	1



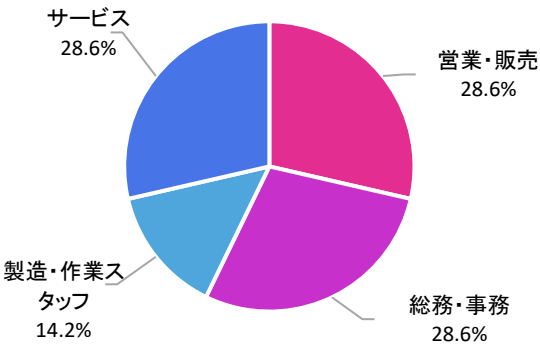
【その他】林業

II・III 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	営業・販売	2	3	0
2	総務・事務	2	2	1
3	製造・作業スタッフ	1	1	1
4	通訳・貿易	0	0	0
5	サービス	2	2	0
6	公務	0	0	0
7	その他	0	0	0

【その他】

II 職種

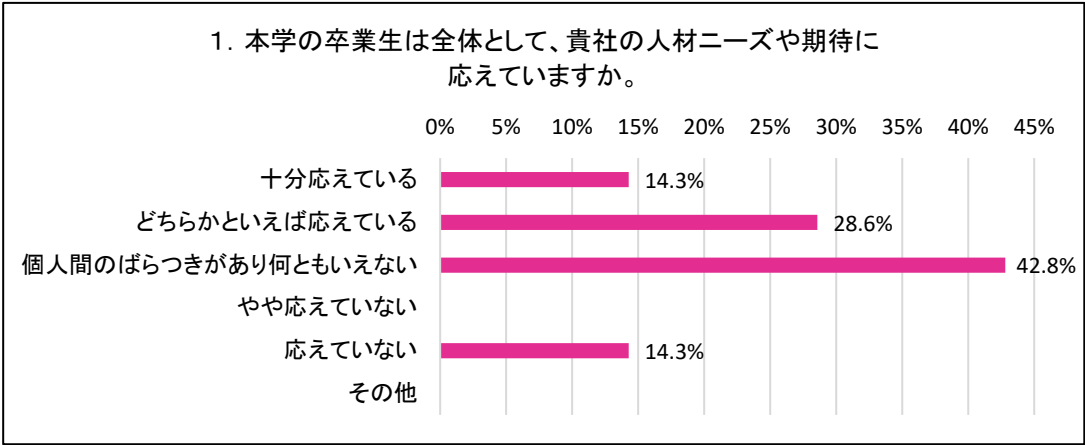


IV 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	1
2	どちらかといえば応えている	2
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4	やや応えていない	0
5	応えていない	1
6	その他	0

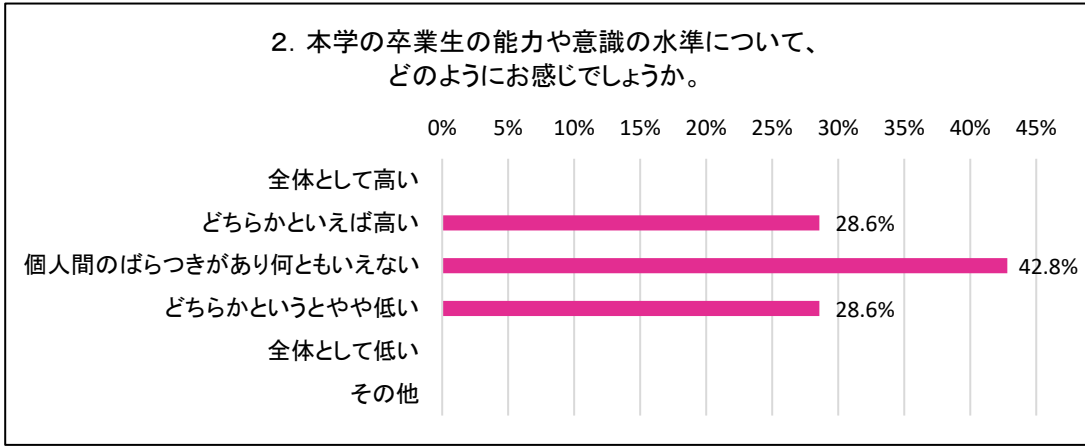
【その他】



2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	0
2	どちらかといえば高い	2
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4	どちらかというやや低い	2
5	全体として低い	0
6	その他	0

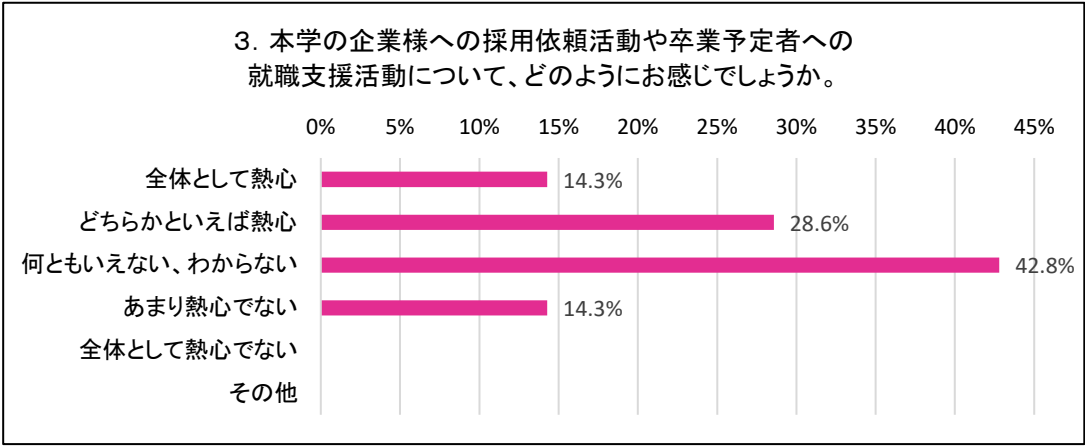
【その他】



3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	1
2	どちらかといえば熱心	2
3	何ともいえない、わからない	3
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

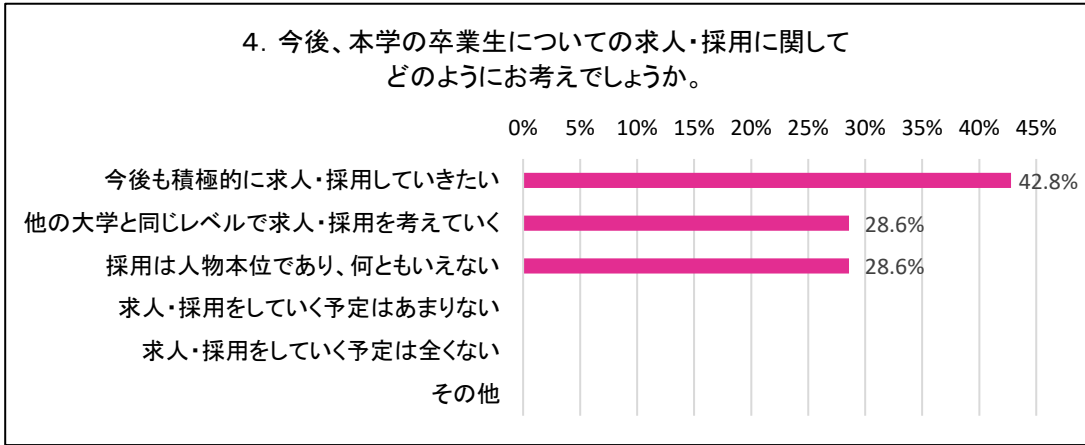
【その他】



4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	3
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	2
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	2
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	0
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

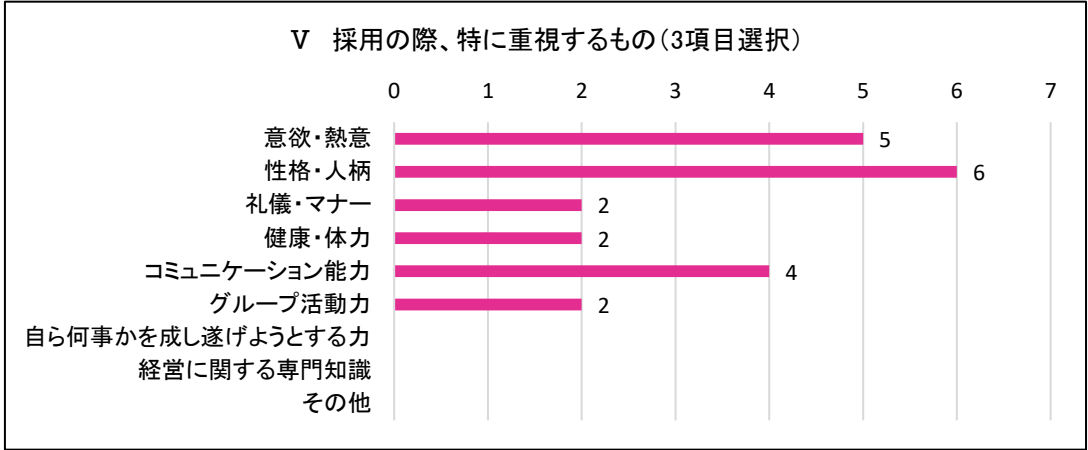
【その他】



V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	5
2	性格・人柄	6
3	礼儀・マナー	2
4	健康・体力	2
5	コミュニケーション能力	4
6	グループ活動力	2
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	0
8	経営に関する専門知識	0
9	その他	0

【その他】



VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

令和6年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 発達科学部（教育・保育等） 集計結果の概要（令和4年度卒業生対象）

依頼数 45 に対し、協力数は 35 で回収率は 77.8%（昨年：依頼数 39 に対し、協力数は 29 で回収率は 74.4%）であった。回答に協力いただいた小学校・幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱ・Ⅲのとおりである。

Ⅲ 令和5年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについて のご感想をお伺いします。

Ⅲ-1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園・所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 82.8%と十分な評価を得ている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 8.6%であった。「やや応えていない」は 5.7%であり、「応えていない」という回答はなかった。

昨年度は「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の回答の割合が合わせて約 96%で、今年度は約 83%とやや低下したものの、引き続き高い評価をしていただいたことは有難いことである。今後とも教育者としての素養と専門的な知識を備えた人材の育成に尽力していきたい。

Ⅲ-2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 62.8%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 25.7%であった。「どちらかというやや低い」は 2.9%（1 件）であった。「全体として低い」という回答はなかった。

昨年度は「全体として高い」「どちらかといえば高い」の回答の割合が合わせて約 69%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が約 26%であり、概ね同じ評価となっている。教育現場では幾多の壁や困難に遭遇することになるが、失敗経験から学び、教職に対する強い意志と粘り強さを持ち続け、誰からも信頼される教育者となることができるよう、学生の育成に尽力していきたい。

Ⅲ-3. 本学の貴校（園・所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 41.1%、「何ともいえない、わからない」が 47.1%を占めている、「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」はそれぞれ 5.9%（1 件）であった。

昨年度は「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の回答の割合が合わせて約 59%であり、今年度は評価が低くなっている。「何ともいえない、わからない」の回答の割合は昨年度の約 27%から 47%へと高くなっている。肯定的な評価を高めていくために、ゼミ担当教員、キャリア支援課、幼稚園・保育所・認定こども園が効果的に連携して、個々の学生に照準をあてて丁寧に進路実現を進めていく必要がある。

Ⅲ-4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 76.5%、「採用は人物本位であり、何ともいえない」が 17.6%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」は 5.9%（1 件）であり、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

昨年度は「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の回答の割合が合わせて約 64%であったものが、今年度は約 77%と上昇した。教育・保育の現場が本学発達科学部の学生に期待して頂いている部分が大きいだけに、今後もこの傾向が継続できるよう、教職をめざす学生への指導・育成に学部を挙げて一層尽力していきたい。

Ⅳ ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。（公立の場合は回答不要）

「コミュニケーション能力」の回答が一番多く、次いで「意欲・熱意」「性格・人柄」の回答が多く見られた。

上位3項目は昨年度と同じで、また企業等においても同じであり、教育者としての資質である。大学生活で様々な体験をし、多くの人と交流して知見を広げていくとともに、コミュニケーション能力（話す力）を磨き、自己を確立していくことが大切である。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (発達科学部 教育・保育等)

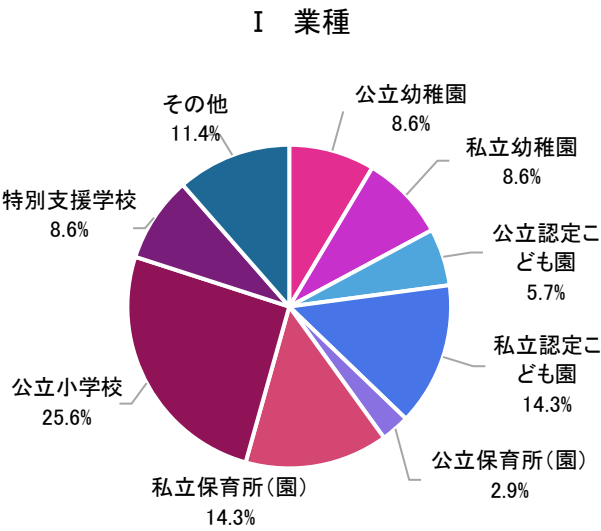
調査対象	令和4年度高松大学 発達科学部（教育・保育）卒業生就職先			45校（園・所）
実施時期	令和6年7月			
調査方法	郵送による質問紙法			
回収率	依頼数			45校（園・所）
	協力数			35校（園・所）
	回収率			77.8%

I 貴校 (園・所) の区分についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立幼稚園	3
2	私立幼稚園	3
3	公立認定こども園	2
4	私立認定こども園	5
5	公立保育所 (園)	1
6	私立保育所 (園)	5
7	公立小学校	9
8	特別支援学校	3
9	その他	4

【その他】

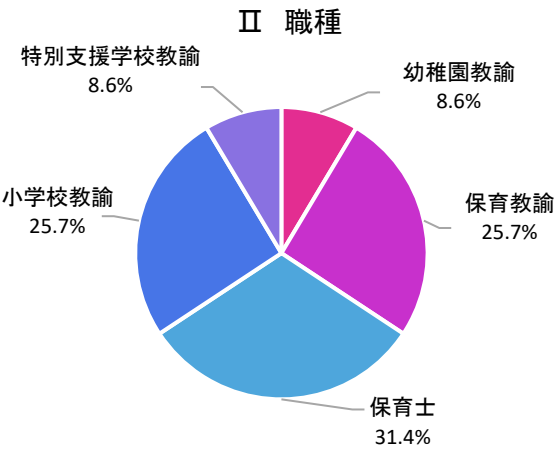
放課後等デイサービス、企業主導型保育所、事業所内保育所、児童養護施設



II 令和5年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の人数 (職種ごと) およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者 (6ヵ月以内)
1	幼稚園教諭	3	3	
2	保育教諭	9	12	1
3	保育士	11	14	
4	小学校教諭	9	9	
5	特別支援学校教諭	3	3	
6	地域子育て支援センター職員	0	0	
7	学童保育担当者	0	0	
8	病児保育担当者	0	0	
9	その他	0	0	

【その他】

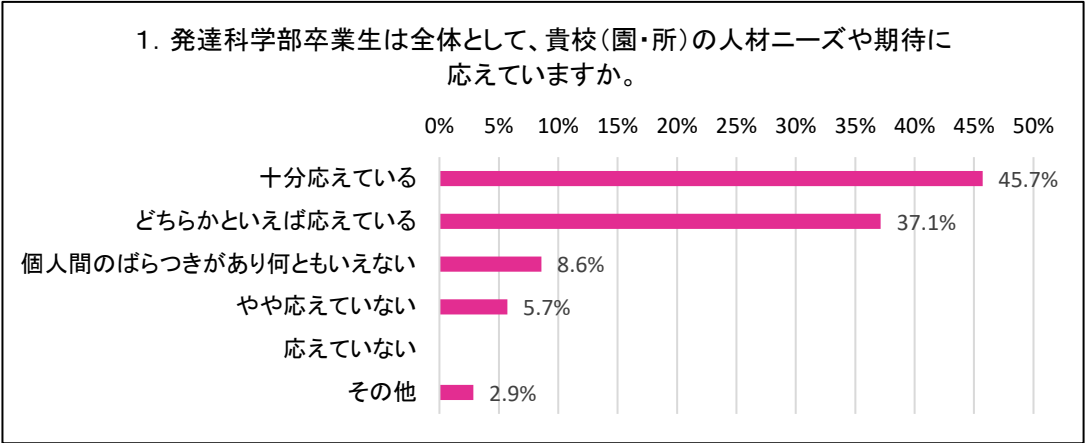


Ⅲ 令和5年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園・所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	16
2	どちらかといえば応えている	13
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	3
4	やや応えていない	2
5	応えていない	0
6	その他	1

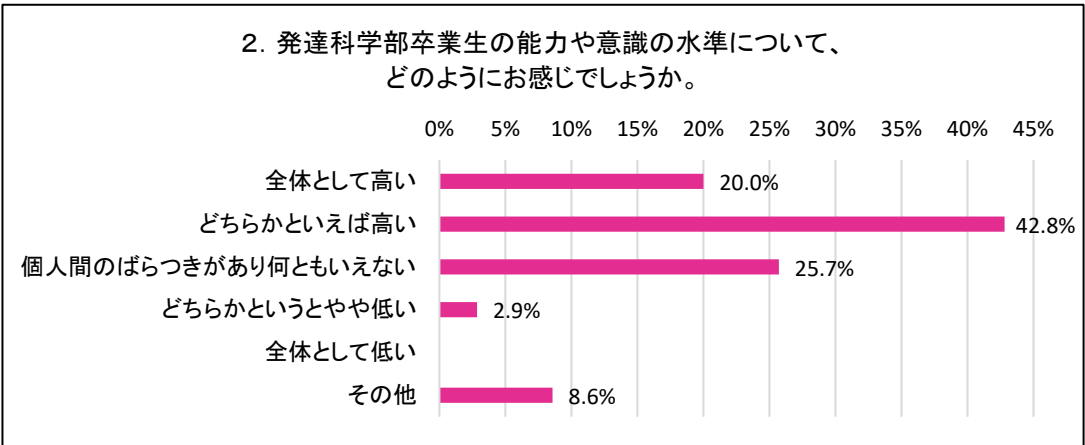
【その他】
1名のみなので判断しにくい



2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	7
2	どちらかといえば高い	15
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	9
4	どちらかというとやや低い	1
5	全体として低い	0
6	その他	3

【その他】
1名のみなので判断しにくい(2)
普通

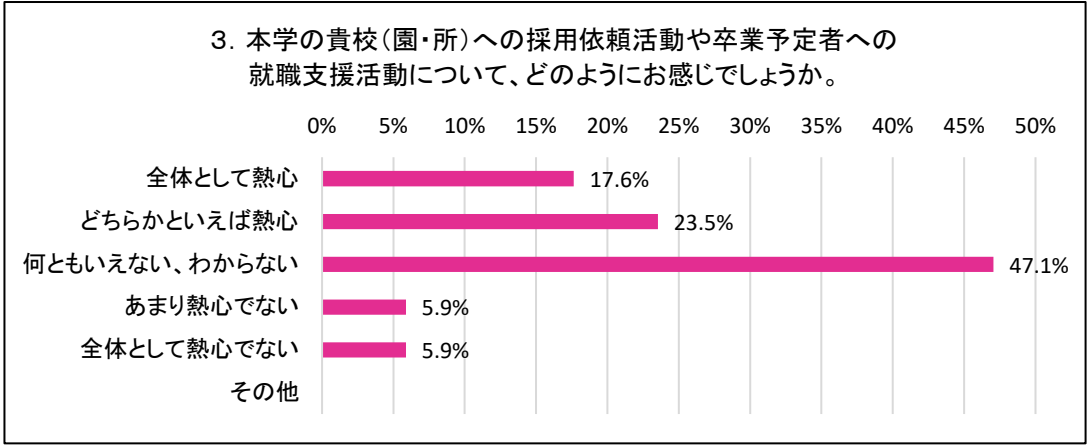


3. 本学の貴校(園・所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

(公立の場合は回答不要)

	項 目	件数
1	全体として熱心	3
2	どちらかといえば熱心	4
3	何ともいえない、わからない	8
4	あまり熱心でない	1
5	全体として熱心でない	1
6	その他	0

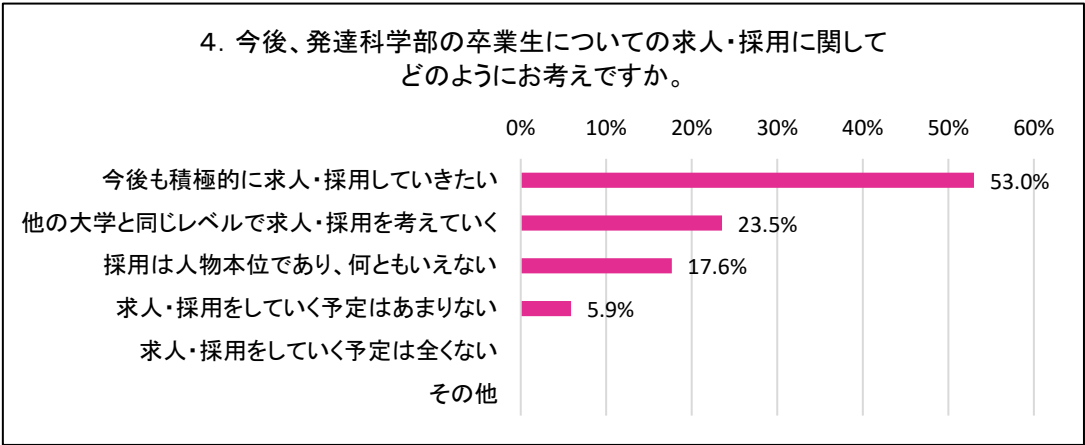
【その他】



4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えですか。 (公立の場合は回答不要)

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	9
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	4
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	3
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

【その他】

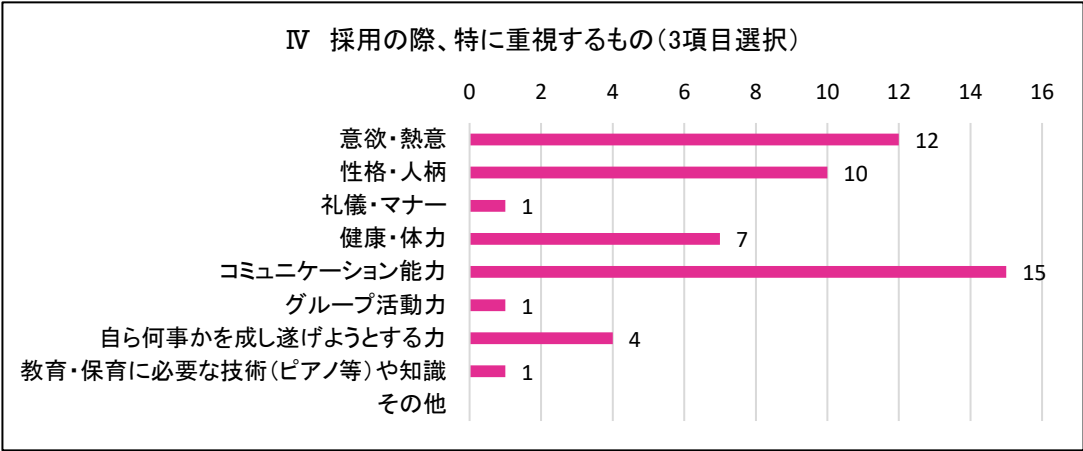


IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

(公立の場合は回答不要)

	項 目	件数
1	意欲・熱意	12
2	性格・人柄	10
3	礼儀・マナー	1
4	健康・体力	7
5	コミュニケーション能力	15
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	4
8	教育・保育に必要な技術(ピアノ等)や知識	1
9	その他	0

【その他】



V 発達科学部の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学発達科学部の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

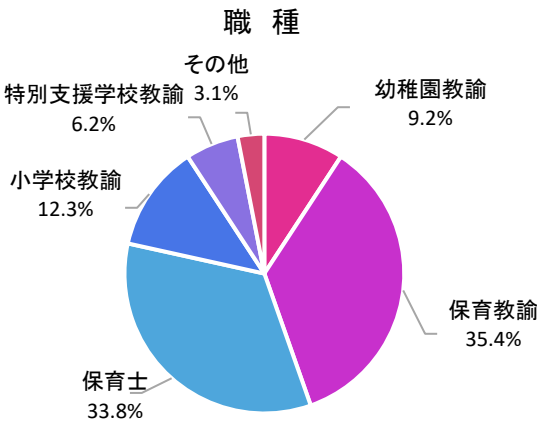
個人情報等を含む内容のため非公表

VI 最後に、貴校(園・所)に在籍している発達科学部の卒業生についてお答えください。
 貴校(園・所)では、現在、発達科学部卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち職種、役職者数についてお答えください。

	項 目	件数	人数
	卒業生数	34	65

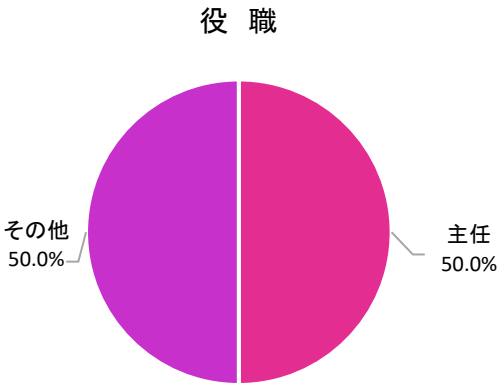
	職 種	件数	人数
1	幼稚園教諭	3	6
2	保育教諭	10	23
3	保育士	10	22
4	小学校教諭	8	8
5	特別支援学校教諭	3	4
6	その他	2	2

【その他】
 介護福祉士(1)



	役 職	件数	人数
1	園長・所長	0	0
2	副園長・副所長	0	0
3	主任	1	1
4	その他	1	1

【その他】
 主幹



**令和6年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート）
大学院経営学研究科 集計結果の概要（令和4年度卒業生対象）**

依頼数1に対し協力なしのため、概要はありません。

令和6年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 保育学科 集計結果の概要（令和4年度卒業生対象）

依頼数 42 に対し、協力数は 31 で回収率は 73.8%（昨年：依頼数 35 に対し、協力数は 26 で回収率は 74.3%）であった。回答に協力いただいた幼稚園・保育所等の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6 ヶ月以内）についてはⅠ、Ⅱのとおりである。

Ⅲ 令和5年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。

Ⅲ-1. 保育学科卒業生は全体として、貴園（所）の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 87.0%と十分高い評価を得ている。「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 6.5%であった。「やや応えていない」は 6.5%であり、「応えていない」という回答はなかった。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」で 9 割近い園から高い評価をいただき、有難いことである。概ね就職先の人材ニーズや期待に応えてくれているようである。在学中に保育補助ボランティアやアルバイト、実習等で将来を見据えた施設との良好な関係を構築することができた者も見られ、就職するまでのプロセスも大きく影響しているように思われる。「応えていない」という回答はなかったものの、「やや応えていない」という評価を 2 件いただいていることが残念である。保育者としてよりも職業人としての未熟さが要因にあるように思われる。積極的に経験を積み重ねていってもらいたい。

Ⅲ-2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 61.3%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 29.0%であった。「どちらかというやや低い」は 9.7%、「全体として低い」という回答はなかった。

高いと評価頂いた割合が前年度よりもアップしたものの 6 割に留まっている。引き続き、高い評価をいただけるよう、より良い指導を追求していきたい。

また、「個人間のばらつきがあり何とも言えない」のみで 3 割弱、「どちらかというやや低い」が 1 割となっており、保育者としての資質に課題を感じる場面が多いと言わざるを得ないのであろう。個別対応の充実を図っていくことも重要と考える。

Ⅲ-3. 本学の貴園（所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合が合わせて 65.5%、「何ともいえない、わからない」が 27.6%であった。「あまり熱心でない」は 6.9%、「全体として熱心でない」という回答はなかった。

残念ながら「あまり熱心でない」が 2 件あった。自由記述欄の中でも、「大学側からの紹介をしていただきたいと思います」という記述もあった。採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動が十分に行われていないことの表れと感じている。近年、学生の就職志望の有無も変化し、難しくなっているが、年間を通しての保育職就職への意識付けを行い、積極的な就職支援活動を進めていきたい。また、就職希望施設とのミスマッチを防ぐためにも、保育学科で行われている探究活動の時間等を利用して、保育補助ボランティア・アルバイトや施設見学をすることで、就職希望施設との事前の繋がりを得る機会について働きかけていきたい。

Ⅲ-4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。（公立の場合は回答不要）

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 86.3%と高い水準である。「採用は人物本位であり、何ともいえない」は 10.3%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」は 3.4%（1 件）で、「求人・採用をしてい

く予定は全くない」という回答はなかった。

今後の求人・採用に関して、前向きで高い評価を得られて大変有難い。引き続き、将来を見据えた施設との良好な関係を構築できるよう保育学科での指導を充実させていきたい。

Ⅳ ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。（公立の場合は回答不要）

「意欲・熱意」「性格・人柄」の回答が一番多く、次いで「コミュニケーション能力」「礼儀・マナー」の回答が多く見られた。

やはり、保育者というよりも基本的な職業人としての資質を重視していることの表れである。

自由記述欄の中で、1年で退職され残念に思うこと、保育士になりたかったという意欲が感じられなかったこと、大学、職場ともにやりがいを感じられるように人材育成を行いたいという記述があった。そのことも含め、今年度から保育学科では、発達科学部と合同で「保育実習交流会」を開催し、また、保育学科独自で「卒業生フォローアップ」を開催した。それらの保育実習協力園の先生方と本学との情報交換の場、今春卒業や1年を過ぎた卒業生を集めた意見交換の場を活用してサポートし、より良い人材育成の向上を図っていきたい。そして就職後の定着率アップにも繋げていきたい。

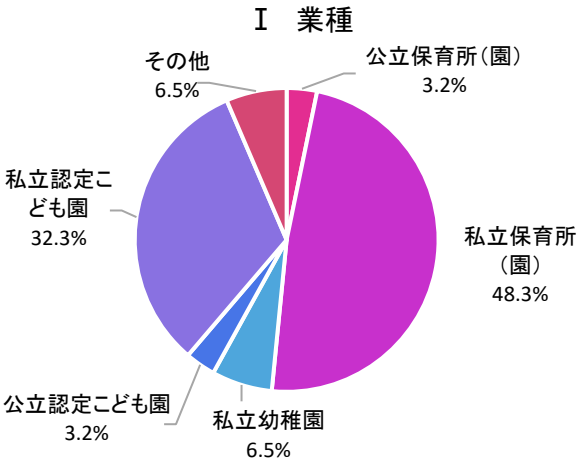
(2) 集計結果 グラフ及びデータ (保育学科)

調査対象	令和4年度高松短期大学保育学科卒業生就職先		42園(所)
実施時期	令和6年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	42園(所)	
	協力数	31園(所)	
回収率		73.8%	

I 貴園(所)の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	公立保育所(園)	1
2	私立保育所(園)	15
3	公立幼稚園	0
4	私立幼稚園	2
5	公立認定こども園	1
6	私立認定こども園	10
7	その他	2

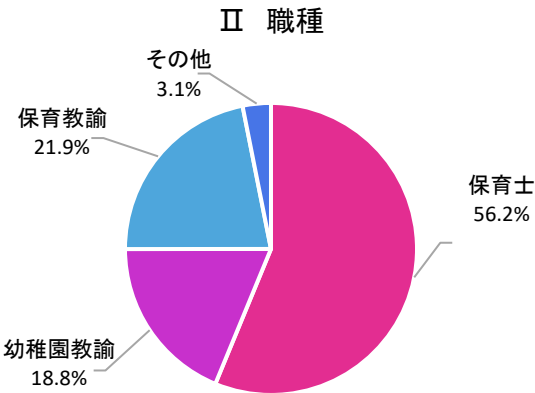
【その他】
児童養護施設
小規模保育園



II 令和5年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の人数(職種ごと)およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	保育士	18	20	1
2	幼稚園教諭	6	7	
3	保育教諭	7	8	
4	臨時職員	0	0	
5	預かり保育	0	0	
6	地域子育て支援センター職員	0	0	
7	学童保育担当者	0	0	
8	病児保育担当者	0	0	
9	その他	1	1	

【その他】
調理員

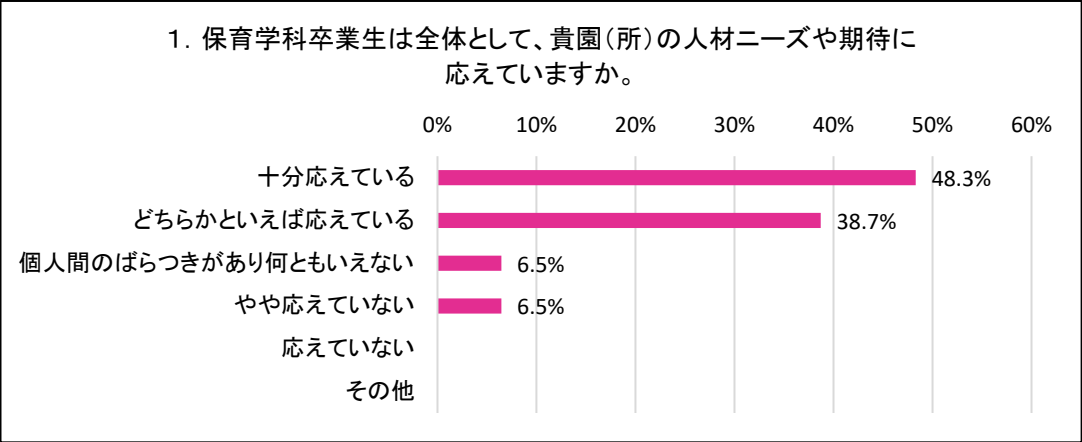


Ⅲ 令和5年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います。

1. 保育学科卒業生は全体として、貴園(所)の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	15
2	どちらかといえば応えている	12
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	2
4	やや応えていない	2
5	応えていない	0
6	その他	0

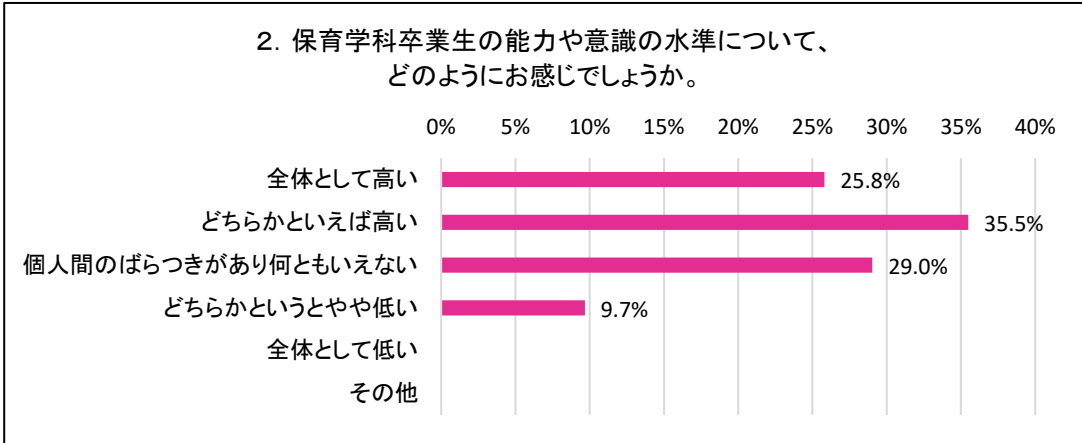
【その他】



2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	8
2	どちらかといえば高い	11
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	9
4	どちらかというとやや低い	3
5	全体として低い	0
6	その他	0

【その他】

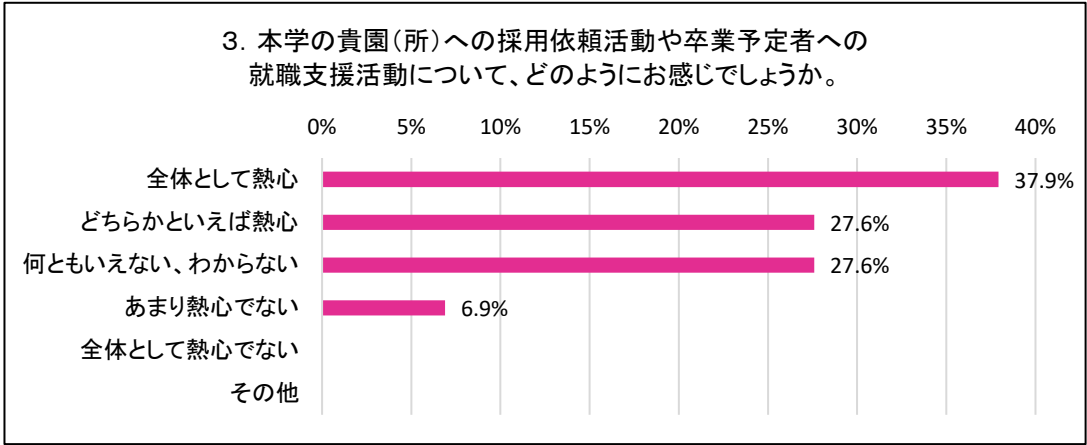


3. 本学の貴園(所)への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのように感じでしょうか。

(公立の場合は回答不要)

	項 目	件数
1	全体として熱心	11
2	どちらかといえば熱心	8
3	何ともいえない、わからない	8
4	あまり熱心でない	2
5	全体として熱心でない	0
6	その他	0

【その他】

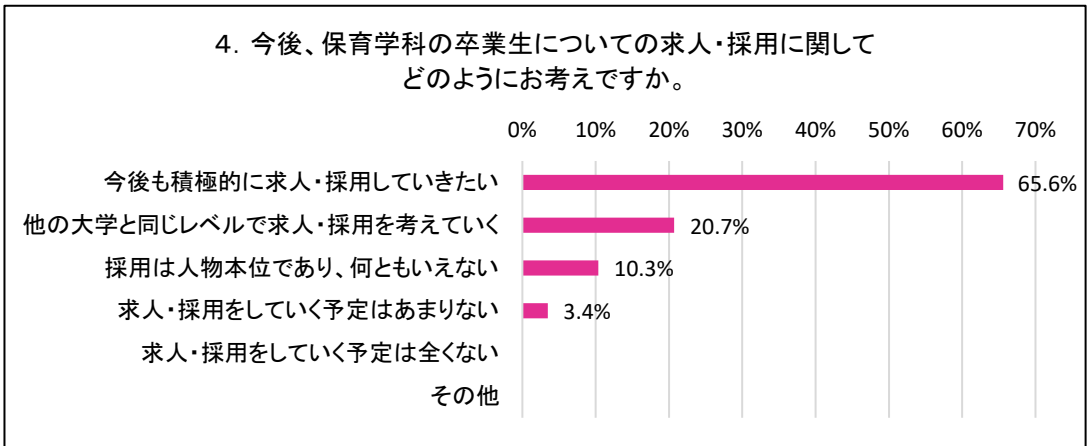


4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えですか。

(公立の場合は回答不要)

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	19
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	6
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	3
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

【その他】

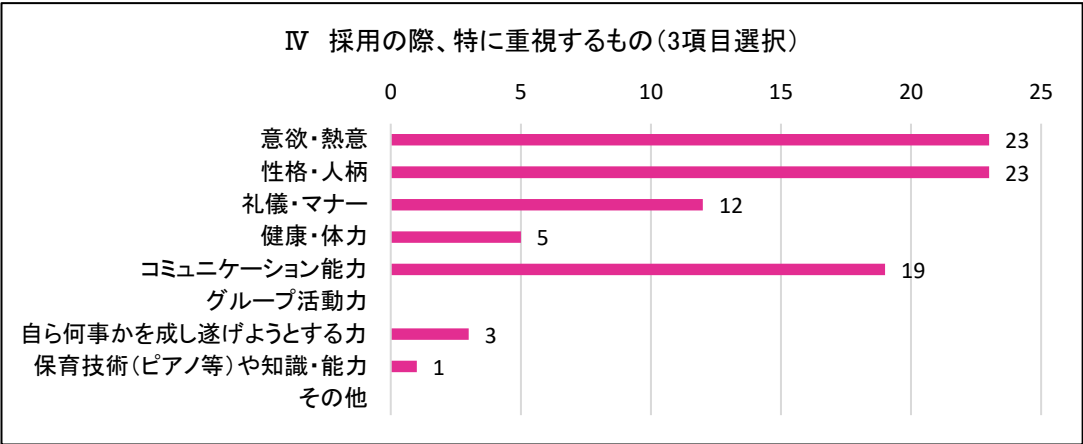


IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

(公立の場合は回答不要)

	項 目	件数
1	意欲・熱意	23
2	性格・人柄	23
3	礼儀・マナー	12
4	健康・体力	5
5	コミュニケーション能力	19
6	グループ活動力	0
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	3
8	保育技術(ピアノ等)や知識・能力	1
9	その他	0

【その他】



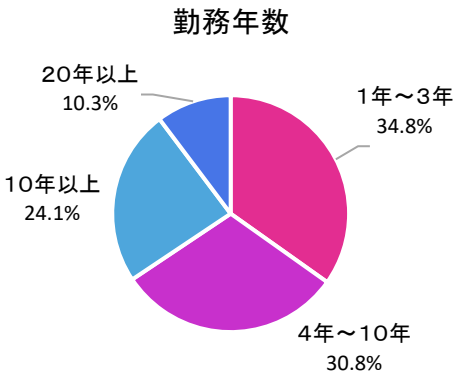
V 保育学科の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学保育学科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

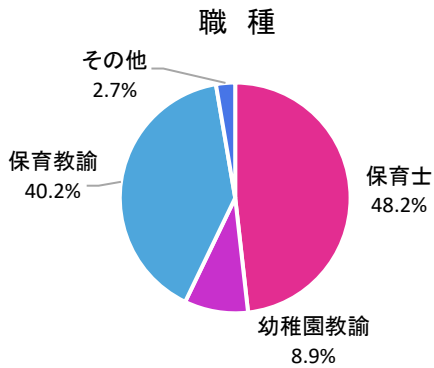
VI 最後に、貴園(所)に在籍している保育学科(幼児教育学科、児童教育学科)の卒業生についてお答えください。
 貴園(所)では、現在、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

	項 目	件数	人数
	卒業生数	31	224

	勤務年数	件数	人数
1	1年～3年	31	78
2	4年～10年	18	69
3	10年以上	19	54
4	20年以上	10	23

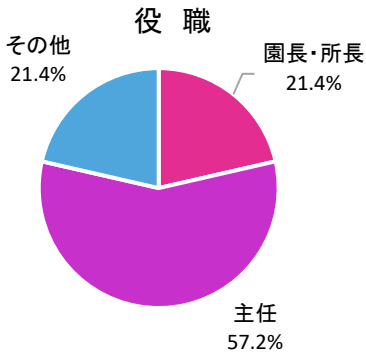


	職 種	件数	人数
1	保育士	16	108
2	幼稚園教諭	7	20
3	保育教諭	8	90
4	その他	4	6



【その他】
 調理員(3)

	役 職	園(所)数	人数
1	園長・所長	3	3
2	副園長・副所長	0	0
3	主任	7	8
4	その他	3	3



【その他】
 教頭
 副主幹保育教諭
 副主任

令和6年度 就職先からの卒業生に対する評価（卒業生に関するアンケート） 秘書科 集計結果の概要（令和4年度卒業生対象）

依頼数 49 に対し、協力数は 30 で回収率は 61.2%（昨年：依頼数 67 に対し、協力数は 38 で回収率は 56.7%）であった。回答に協力いただいた企業・病院の業種、卒業生の職種・人数・退職者数（6ヵ月以内）についてはⅠ、Ⅱのとおりである。

Ⅲ 令和5年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについて のご感想をお伺いします。

Ⅲ-1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

「十分応えている」「どちらかといえば応えている」の割合が合わせて 66.6%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 26.7%であった。「やや応えていない」は 6.7%であり、「応えていない」という回答はなかった。

上記の結果から、多くの企業・病院で、秘書科の教育がある程度は活かされていると考えられる。特に、個性を生かす教育、パソコン能力、コミュニケーション能力等のプラス評価の意見もみられる。しかし、一部の学生で見られる否定的な評価のコメントには「電話対応の能力不足」「コミュニケーション能力の不足」「基礎的なマナー不足」「報連相の大切さを学んでほしい」等の記述があった。

なお、基礎的なマナー不足等の記述があったのは、秘書科が学修成果としてあげている「①自ら考え行動できる能力と幅広い教養や、知識・技能を身に付けている」の教育にまだ不十分などところがあることが考えられる。これらの点は、個人の能力に依存していることが多く、教えることが最も難しい内容でもあるが、対応していきたい。

Ⅲ-2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として高い」「どちらかといえば高い」の割合が合わせて 56.6%、「個人間のばらつきがあり何ともいえない」が 36.7%を占めている。「どちらかというやや低い」は 6.7%であり、「全体として低い」という回答はなかった。

上記の結果から、秘書科の評価は個人差があり難しいと考えられる。企業・病院からのコメントには「入社した新卒・中途社員のなかで新人賞を受賞した」ことの記述があった。

一部の学生によるマナーに関する教育が必要なこと、コミュニケーション能力が足りていなかったことがマイナス回答の理由として考えられる。また、卒業生が良い結果を残すと、今後の採用にプラス評価になっていると考える。

Ⅲ-3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

「全体として熱心」「どちらかといえば熱心」の割合は合わせて 66.7%、「何ともいえない、わからない」が 30.0%を占めている。「あまり熱心でない」「全体として熱心でない」という回答はなかった。

上記の結果から、一部の企業と医療機関からここ数年高い評価が続いているのはキャリア支援課の努力や、担当教員が病院・企業訪問を続けた結果であると考えられる。今後も企業、医療機関と連携を強化していきたいと考えている。

Ⅲ-4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

「今後も積極的に求人・採用していきたい」「他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく」の割合が合わせて 83.4%と高い水準である。「採用は人物本位であり、何ともいえない」が 13.3%であった。「求人・採用をしていく予定はあまりない」は 3.3%（1件）であり、「求人・採用をしていく予定は全くない」という回答はなかった。

上記の結果から、「今後も積極的に求人・採用していきたい」と考えていただいている企業・病

院の割合（56.7%）が一番多いのはとても良いことである。今後とも、企業・医療機関と連携を強化していきたい。

IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

「性格・人柄」「コミュニケーション能力」「意欲・熱意」の回答が多く見られた。

上記3点の項目は、順番が入れ替わることはあるが、毎年挙げられている事であり、学科の最重要教育課題として取り組んでいる事でもある。今後も上記3点を基本として、教育によりそれらの能力に秀でた人材を社会に送りだせるように努める。

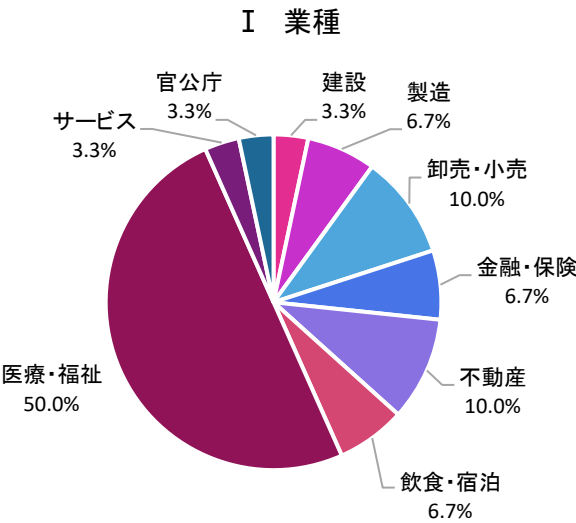
なお、4番目挙げられている項目は「礼儀・マナー」であり、ビジネスマナー教育の基本として、今後もしっかり指導していく必要がある。

(2) 集計結果 グラフ及びデータ (秘書科)

調査対象	令和4年度高松短期大学秘書科卒業生就職先 49社(院)		
実施時期	令和6年7月		
調査方法	郵送による質問紙法		
回収率	依頼数	49社(院)	
	協力数	30社(院)	
回収率		61.2%	

I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

	業 種	件数
1	建設	1
2	製造	2
3	電気・ガス・水道	0
4	情報・通信	0
5	運輸	0
6	卸売・小売	3
7	金融・保険	2
8	不動産	3
9	飲食・宿泊	2
10	医療・福祉	15
11	サービス	1
12	官公庁	1
13	その他	0



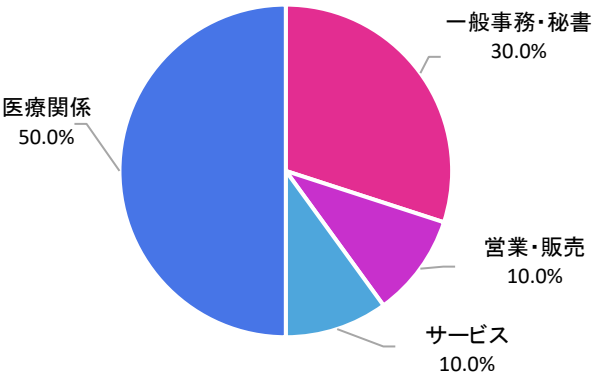
【その他】

II 令和5年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の職種ごとの人数およびそのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

	職 種	件数	人数	内退職者(6ヵ月以内)
1	一般事務・秘書	9	9	
2	営業・販売	3	3	
3	サービス	3	3	
4	医療関係	15	16	2
5	その他	0	0	

【その他】

II 職種

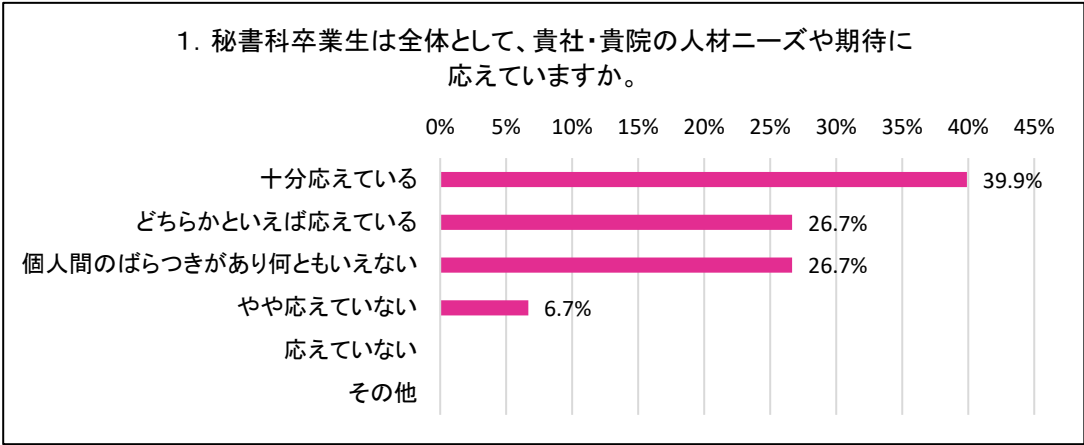


Ⅲ 令和5年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想を伺います

1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待に応えていますか。

	項 目	件数
1	十分応えている	12
2	どちらかといえば応えている	8
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	8
4	やや応えていない	2
5	応えていない	0
6	その他	0

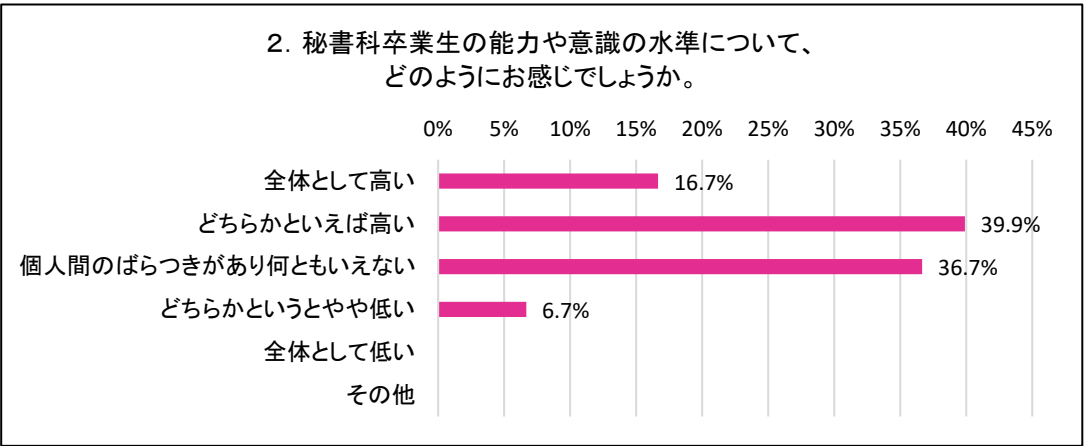
【その他】



2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として高い	5
2	どちらかといえば高い	12
3	個人間のばらつきがあり何ともいえない	11
4	どちらかというやや低い	2
5	全体として低い	0
6	その他	0

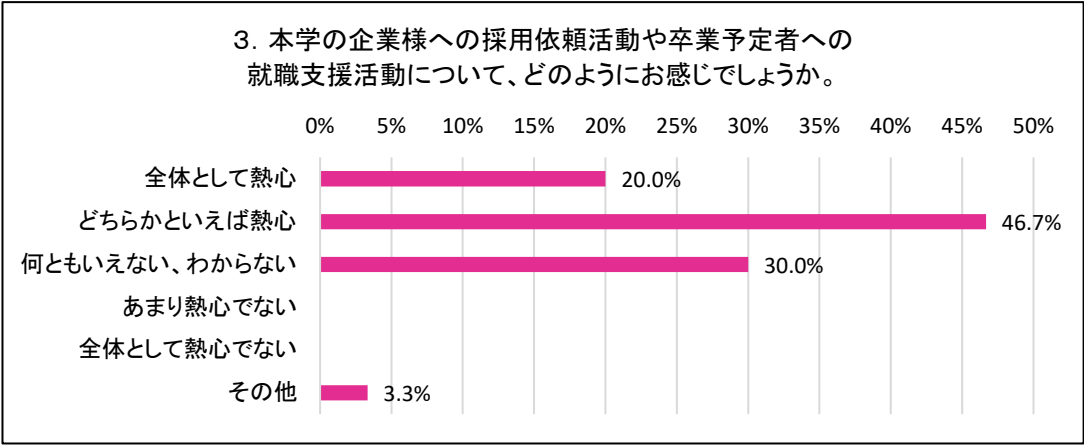
【その他】



3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

	項 目	件数
1	全体として熱心	6
2	どちらかといえば熱心	14
3	何ともいえない、わからない	9
4	あまり熱心でない	0
5	全体として熱心でない	0
6	その他	1

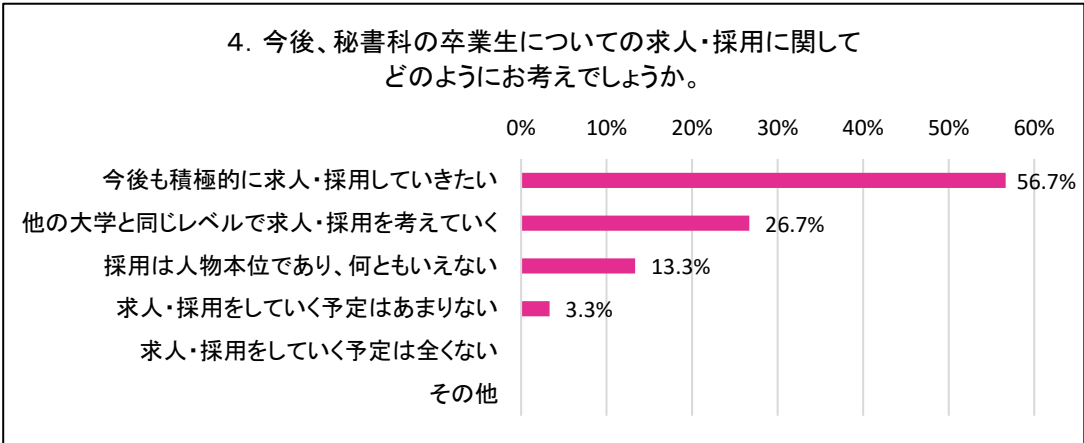
【その他】
人材紹介会社を通じての採用のため分からない



4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

	項 目	件数
1	今後も積極的に求人・採用していきたい	17
2	他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく	8
3	採用は人物本位であり、何ともいえない	4
4	求人・採用をしていく予定はあまりない	1
5	求人・採用をしていく予定は全くない	0
6	その他	0

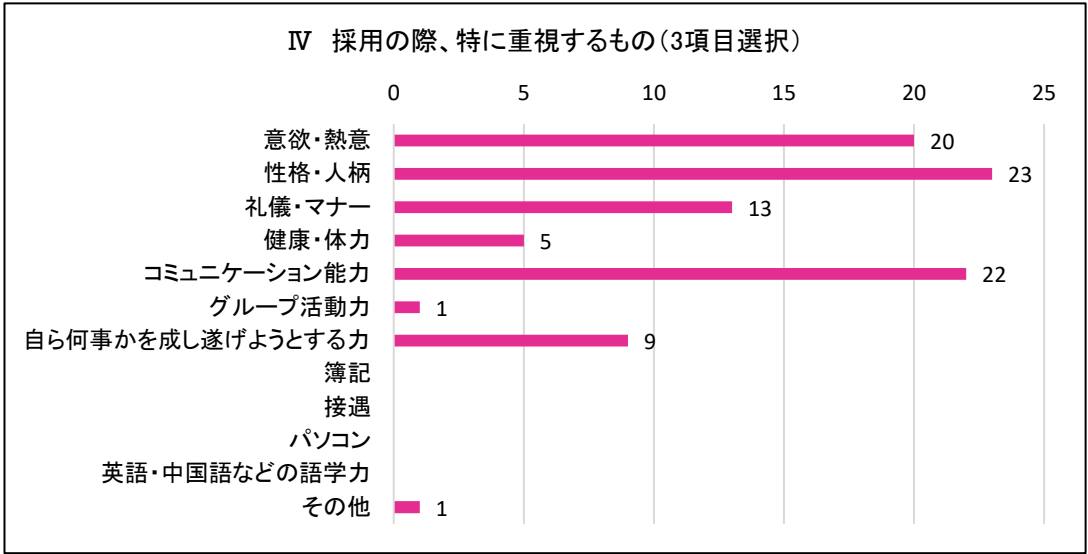
【その他】



Ⅳ ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

	項 目	件数
1	意欲・熱意	20
2	性格・人柄	23
3	礼儀・マナー	13
4	健康・体力	5
5	コミュニケーション能力	22
6	グループ活動力	1
7	自ら何事かを成し遂げようとする力	9
8	簿記	0
9	接遇	0
10	パソコン	0
11	英語・中国語などの語学力	0
12	その他	1

【その他】
成功体験



Ⅴ 秘書科の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学秘書科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきの点がございましたら、具体的にご記入ください。

個人情報等を含む内容のため非公表

回答方法：①本学ホームページ（トップページ＞インフォメーション【卒業生に関するアンケートの回答はこちらから】より回答）

②FAX：087-841-7158（高松大学キャリア支援課） *送付状は不要です

締 切：令和6年7月31日（水）

高松大学 卒業生に関するアンケート（企業等）

I 貴社の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)その他（ ）

II 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

- 1)営業・販売____名 2)総務・事務____名 3)製造・作業スタッフ____名 4)通訳・貿易____名
5)サービス____名 6)公務____名 7)その他（ ）____名

III 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の学部等名と人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1)経営学部____名（内留学生____名）うち退職____名（____年____月）
2)発達科学部____名うち退職____名（____年____月）
3)大学院経営学専攻____名（内留学生____名）うち退職____名（____年____月）

IV 令和5年4月にご採用いただいた本学卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。 該当する番号を1つお選びください。

1. 本学の卒業生は全体として、貴社の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1)十分応えている 2)どちらかといえば応えている 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)やや応えていない 5)応えていない 6)その他（ ）

2. 本学の卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として高い 2)どちらかといえば高い 3)個人間のばらつきがあり何ともいえない
4)どちらかというやや低い 5)全体として低い 6)その他（ ）

3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1)全体として熱心 2)どちらかといえば熱心 3)何ともいえない、わからない
4)あまり熱心でない 5)全体として熱心でない 6)その他（ ）

4. 今後、本学の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1)今後も積極的に求人・採用していきたい 2)他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3)採用は人物本位であり、何ともいえない 4)求人・採用をしていく予定はあまりない
5)求人・採用をしていく予定は全くない 6)その他（ ）

V ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1)意欲・熱意 2)性格・人柄 3)礼儀・マナー 4)健康・体力
5)コミュニケーション能力 6)グループ活動力 7)自ら何事かを成し遂げようとする力
8)経営に関する専門知識 9)その他（ ）

VI 本学卒業生をご採用いただいたお立場から、本学の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

.....
.....
.....

◆貴社名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

回答方法：①本学ホームページ（トップページ＞インフォメーション【卒業生に関するアンケートの回答はこちらから】より回答）

②FAX：087-841-7158(高松大学キャリア支援課) *送付状は不要です

締 切：令和6年7月31日（水）

高松大学発達科学部 卒業生に関するアンケート（教育・保育等）

I 貴校（園・所）の業種についてお答えください。

- 1) 公立幼稚園 2) 私立幼稚園 3) 公立認定こども園 4) 私立認定こども園 5) 公立保育所（園）
6) 私立保育所（園） 7) 公立小学校 8) 特別支援学校 9) その他（ ）

II 令和5年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の人数（職種ごと）についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 幼稚園教諭 名うち退職 名（ 年 月） 2) 保育教諭 名うち退職 名（ 年 月）
3) 保育士 名うち退職 名（ 年 月） 4) 小学校教諭 名うち退職 名（ 年 月）
5) 特別支援校教諭 名うち退職 名（ 年 月） 6) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名（ 年 月）
7) 学童保育担当者 名うち退職 名（ 年 月） 8) 病児保育担当者 名うち退職 名（ 年 月）
9) その他（ ） 名うち退職 名（ 年 月）

III 令和5年4月にご採用いただいた発達科学部卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。

1. 発達科学部卒業生は全体として、貴校（園・所）の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他（ ）

2. 発達科学部卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他（ ）

3. 本学の貴校（園・所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。（公立の場合は回答の必要はありません）

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他（ ）

4. 今後、発達科学部の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。（公立の場合は回答の必要はありません）

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は人物本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他（ ）

IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。（公立の場合は回答の必要はありません）

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 教育・保育に必要な技術（ピアノ等）や知識 9) その他（ ）

V 発達科学部の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学発達科学部の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

.....

.....

VI 最後に、貴校（園・所）に在籍している発達科学部の卒業生についてお答えください。

貴校（園・所）では、現在、発達科学部卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち職種、役職者数についてお答えください。

- ◇卒業生数 名
◇職種 1) 幼稚園教諭 名 2) 保育教諭 名 3) 保育士 名
4) 小学校教諭 名 5) 特別支援学校教諭 名 6) その他（ ） 名
◇役職 1) 園長・所長 名 2) 副園長・副所長 名 3) 主任 名 4) その他（ ） 名

◆貴校（園・所）名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

回答方法：①本学ホームページ（トップページ＞インフォメーション【卒業生に関するアンケートの回答はこちらから】より回答）

②FAX：087-841-7158(高松大学キャリア支援課) *送付状は不要です

締 切：令和6年7月31日（水）

高松短期大学保育学科 卒業生に関するアンケート

I 貴園（所）の業種についてお答えください。

- 1) 公立保育所（園） 2) 私立保育所（園） 3) 公立幼稚園 4) 私立幼稚園
5) 公立認定こども園 6) 私立認定こども園 7) その他（ ）

II 令和5年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の人数（職種ごと）についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 保育士 名うち退職 名（ 年 月） 2) 幼稚園教諭 名うち退職 名（ 年 月）
3) 保育教諭 名うち退職 名（ 年 月） 4) 臨時職員 名うち退職 名（ 年 月）
5) 預かり保育 名うち退職 名（ 年 月）
6) 地域子育て支援センター職員 名うち退職 名（ 年 月）
7) 学童保育担当者 名うち退職 名（ 年 月） 8) 病児保育担当者 名うち退職 名（ 年 月）
9) その他（ ） 名うち退職 名（ 年 月）

III 令和5年4月にご採用いただいた保育学科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。該当する番号を1つお選びください。

1. 保育学科卒業生は全体として、貴園（所）の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他（ ）

2. 保育学科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他（ ）

3. 本学の貴園（所）への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

（公立の場合は回答の必要はありません）

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他（ ）

4. 今後、保育学科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

（公立の場合は回答の必要はありません）

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は人物本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他（ ）

IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。（公立の場合は回答の必要はありません）

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 保育技術（ピアノ等）や知識・能力 9) その他（ ）

V 保育学科の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学保育学科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

.....
.....
.....

VI 最後に、貴園（所）に在籍している保育学科（幼児教育学科、児童教育学科）の卒業生についてお答えください。貴園（所）では、現在、本学卒業生が何名お世話になっていますか。また、そのうち勤務年数、職種、役職者数についてお答えください。

- ◆卒業生数 名
勤務年数 1) 1年～3年 名 2) 4年～10年 名 3) 10年以上 名 4) 20年以上 名
◆職種 1) 保育士 名 2) 幼稚園教諭 名 3) 保育教諭 名 4) その他（ ） 名
◆役職 1) 園長・所長 名 2) 副園長・副所長 名 3) 主任 名 4) その他（ ） 名

◆貴園（所）名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

回答方法：①本学ホームページ（トップページ＞インフォメーション【卒業生に関するアンケートの回答はこちらから】より回答）

②FAX. 087-841-7158(高松大学キャリア支援課) *送付状は不要です

締 切：令和6年7月31日（水）

高松短期大学秘書科 卒業生に関するアンケート

I 貴社・貴院の業種についてお答えください。

- 1)建設 2)製造 3)電気・ガス・水道 4)情報・通信 5)運輸 6)卸売・小売 7)金融・保険
8)不動産 9)飲食・宿泊 10)医療・福祉 11)サービス 12)官公庁 13)その他（ ）

II 令和5年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の職種ごとの人数についてお答えください。

また、そのうち既に退職した者がいましたら、その人数と時期をお答えください。

- 1) 一般事務・秘書 名うち退職 名（ 年 月） 2) 営業・販売 名うち退職 名（ 年 月）
3) サービス 名うち退職 名（ 年 月） 4) 医療関係 名うち退職 名（ 年 月）
5) その他（ ） 名うち退職 名（ 年 月）

III 令和5年4月にご採用いただいた秘書科卒業生の能力および本学の就職支援活動などについてのご感想をお伺いします。 該当する番号を1つお選びください。

1. 秘書科卒業生は全体として、貴社・貴院の人材ニーズや期待にえていますか。

- 1) 十分応えている 2) どちらかといえば応えている 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) やや応えていない 5) 応えていない 6) その他（ ）

2. 秘書科卒業生の能力や意識の水準について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として高い 2) どちらかといえば高い 3) 個人間のばらつきがあり何ともいえない
4) どちらかというやや低い 5) 全体として低い 6) その他（ ）

3. 本学の企業様への採用依頼活動や卒業予定者への就職支援活動について、どのようにお感じでしょうか。

- 1) 全体として熱心 2) どちらかといえば熱心 3) 何ともいえない、わからない
4) あまり熱心でない 5) 全体として熱心でない 6) その他（ ）

4. 今後、秘書科の卒業生についての求人・採用に関してどのようにお考えでしょうか。

- 1) 今後も積極的に求人・採用していきたい 2) 他の大学と同じレベルで求人・採用を考えていく
3) 採用は人本位であり、何ともいえない 4) 求人・採用をしていく予定はあまりない
5) 求人・採用をしていく予定は全くない 6) その他（ ）

IV ご採用の際、特に重視されているものを3つお選びください。

- 1) 意欲・熱意 2) 性格・人柄 3) 礼儀・マナー 4) 健康・体力
5) コミュニケーション能力 6) グループ活動力 7) 自ら何事かを成し遂げようとする力
8) 簿記 9) 接遇 10) パソコン 11) 英語・中国語などの語学力
12) その他（ ）

V 秘書科の卒業生をご採用いただいたお立場から、本学秘書科の教育について、改善すべきこと、良いと思われることなど、どんなことでもお気づきのことがございましたら、遠慮なくご記入ください。

.....

.....

.....

◆貴社・貴院名

回答された方の部署名・役職名

ご芳名

質問は以上です。お忙しい中、ご協力ありがとうございました。

令和 6 年度「就職先からの卒業生に対する評価（卒業生
に関するアンケート）」集計結果報告書
(令和 4 年度卒業生対象)

発行日 令和 6 年 9 月 3 0 日

編 集 高松大学・高松短期大学 学生委員会

発 行 高松大学・高松短期大学

〒761-0194

香川県高松市春日町 960 番地

TEL 087-841-3255 (代表)

FAX 087-841-3064